

みなさん、おはようございます。3月13日に卒業証書授与式があつて、59名が卒業していきました。しかし、在校生の皆さんは見送りができませんでした。新型コロナウイルス感染症への対応で、日本中、いや世界中がこれまでに経験したことのないような対応に迫られています。

校長先生の好きな映画にブルースウィリス主演の「アルマゲドン」というのがありますが、その映画の中での主人公ブルースの台詞です。地球を救うために、彗星に乗り込み彗星の地下深くにドリルで穴を掘り、爆薬を仕掛けるというミッションの途中で、そのドリルのシャフトが折れてしまいます。地球が破壊されるという絶体絶命のピンチの時に、主人公ブルースは、「これも経験と思え。」と仲間にあります。

どんなにピンチの時でも、冷静に場面を観察分析して、最良の手を打つこと。今、君たちも先生たちも、大人も子どもも全ての人が、「これも経験と思え」と自分に言い聞かせて頑張る時です。

先日卒業した59名も、すぐそれぞれの入学式に参加しなければなりません。

そうです、どんなに新型コロナウイルスでたいへんな時であっても、時は常に動いています。昨日は、小学校の卒業式がありました。その生徒たちが、4月に小国中に入学してきます。7年生の皆さん、1年前を思い出してください。喜びと不安が入り交じった、何とも複雑な心境だったと思います。そのことを思い出して、良い先輩としてアドバイスしてください。

8年生の皆さん、あと3ヶ月もすれば、中体連ですよ。心の準備も必要です。もちろん、身体と頭の準備も必要です。あっという間に、その日はやってきます。吹奏楽コンクールもすぐ来ますね。

もう一度言います。今、たいへんな時ですが、君たちは君たちのいる場所にしっかり立って、この試練を良い経験にかえて欲しいと思っています。

これでお話を終わります。